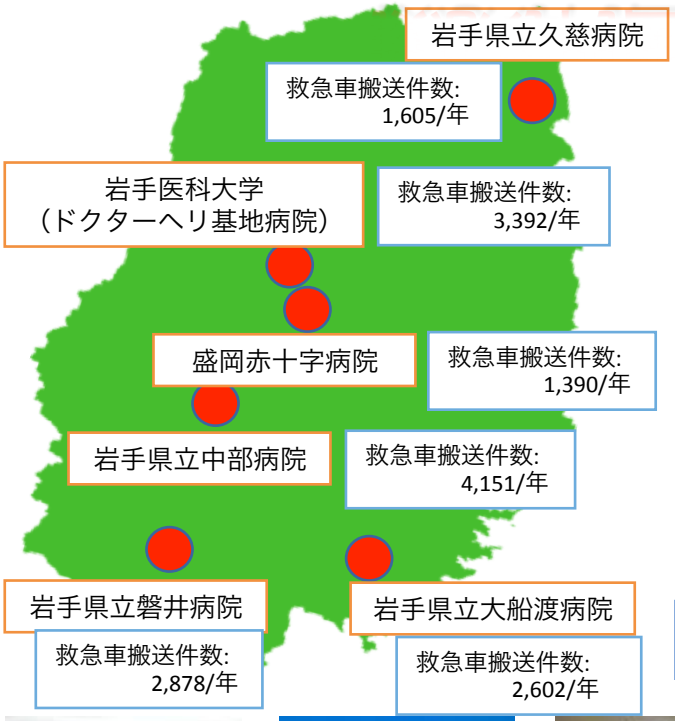
四国四県に匹敵する広大な県土を持つ岩手県で豊富な症例を経験し、バランスのとれた救急専門医になろう！



救急医療では医学的緊急性への対応、すなわち患者さんの状態が手遅れとなる前に診療を開始することが重要です。

しかし、初期には緊急性の程度や罹患臓器も不明なため、患者さんの安全確保には、いずれの病態の緊急性にも対応できる専門医が必要となります。そのためには救急搬送患者を中心に診療を行い、急病、外傷、中毒など原因や罹患臓器の種類に関わらず、全ての緊急性に対応する救急科専門医の存在が重要です。

2016年度岩手県ドクターヘリ運行実績
出動件数: 415、現場出動: 243、診療人数: 352、交通事故: 56

岩手県の面積は15,275㎢と四国四県の面積（18,800㎢）に匹敵します。都道府県別人口10万人対医師数は204.2人（全国平均は244.9人）と第40位、都道府県別1㎢あたり医師数は0.17人（全国平均は0.82人）と第46位です。多種多様な症例を経験できます。またドクターヘリも救命に大きく寄与しています。

岩手県内の**高度救命救急センター（岩手医科大学）**、**救命救急センター（岩手県立久慈病院、岩手県立大船渡病院）**や**災害拠点病院（岩手県立磐井病院、岩手県立中部病院、盛岡赤十字病院）と連携**して救急科専門研修プログラムを進めていきます。

岩手県は度重なる災害を経験しており、**われわれにしか伝えられないこと**があるとともに、いつの日にか恩返しをしなければならない、との思いにあふれています。私たちとともに密度の濃い毎日を送りましょう！

黄金の國、いわて。

マルコ･ポーロや西行法師、松尾芭蕉が憧れた理想郷。